

平成30年第4回（12月）山陽小野田市議会定例会

請 願 文 書 表

受 理 番 号	受 理 年 月 日	件 名	請願の主旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員 の氏名	付託委員会
第4号	平成30年 11月28日	市立小中学校の空調設備 に使用されるエネルギー (燃料) について	別添請願書 写しのとおり	(一社) 山口県LPガス協会 厚狭支部長 伊藤 實 山陽小野田市厚狭12番地26	矢田 松夫	総務文教 常任委員会

請 願 書

市立小中学校の空調設備に使用されるエネルギー（燃料）について



紹介議員

山陽小野田市議会議員

矢田 松夫

件名 市立小中学校空調設備に使用されるエネルギー（燃料）について

要旨

この度、順次設置の計画になっています、市立小中学校空調設備のエネルギーにつきまして、単一のエネルギーに集中することなく、電力、液化天然ガス（LNG）、液化石油ガス（LPG）を災害対策、市内業者育成等の側面から、分散して導入頂くようにお願いいたします。

理由

本年もこれまでに西日本豪雨災害や、北海道地震など日本各地で様々な自然災害が発生しており、その度にライフラインの障害が起こっています。電力、水道、ガス、通信問わず何時どのような形で障害が起こるのか予測できません。

この度計画されている市立小中学校の空調設備におきましても、全て同じエネルギーを使用していると、全校の空調機能が同時に停止してしまう事になります。災害時に小中学校は被災市民の避難場所になることも多く、その役割を果たすことができなくなります。

私共はこういった事由から要旨にありますように、使用エネルギーの分散を提案いたします。そうすれば一つのエネルギーが停止したとしても他のエネルギーを使用している所で対応できることになり、市民のリスクは大幅に少なくなると考えられます。特に私共が生業としていますLPGは他のエネルギーと比較しますと、地震や豪雨などの災害発生時において復旧までの時間が短く、仮設等にも容易に対応できる利便性も備えており、災害発生時にも常時「軒下在庫」といった形で現場に存在し、交通インフラなどが寸断されても、一定期間は熱源が確保できるといった非常時には高い優位性を持った安定的使用可能なエネルギーです。

過去の新潟県中越沖地震や東日本大震災の折にも、いち早く復旧し、炊き出しや給湯、発電、仮設住宅への取り付け等、住民の生活支援に大きな役割を果たしています。

また、山陽小野田市内には多数のLPG供給業者があり、市内業者の育成、地域経済の活性化のため、これらの市内業者を活用していただけるように併せてお願いいたします。

以上

平成30年11月28日

請願者（代表）

（一社）山口県LPGガス協会
厚狭支部長 伊藤 寛
山陽小野田市厚狭12番地208

山陽小野田市議会議長 小野 泰様